

授業科目(ナンバリング)	社会福祉原論 A (DA303)			担当教員	大島 啓		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	2 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
急激な社会変動に伴う生活問題（労働、環境、教育、保険・医療、住宅、過疎・過密のそれ）や、福祉ニーズの多様化・複雑化・高度化に対応して、現代の社会福祉の守備範囲は拡大しつつある。さまざまな政策・対策と連携しつつ、それらの問題に対処するためには、社会福祉の方法や技術だけでなく、現代社会の動向や福祉/社会政策の仕組みを深く洞察することが必要である。本講義では、それらの洞察に基づく思考力、判断力、表現力を活用することを通じて、主体的に問題解決を行い、地域社会や国際社会に貢献することができる人物を育成することを目標とする。							②
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	社会福祉、福祉政策、社会政策相互に関係する専門的知識を修得し、それらを社会の様々な生活課題に適用して、解決を図るための条件を解明することができる。				・定期試験	70%	
情報収集、分析力	現代社会の動向や福祉/社会政策の仕組みに関する情報を収集し、それを分析する能力を身につけることで、自己や社会の成長に役立つ知見を指摘することができる。				・定期試験	20%	
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神に基づき、自分の考えを他者に明確に文章で伝えることによって、相互理解を図る営みに参加することができる。				・リフレクションカードにおける質問事項	10%	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
「定期試験」では筆記試験を実施する（評価比率 90%）。穴埋め問題と論述式の設問を出す。定期試験では、現代の社会福祉政策の課題に対応できる基礎知識の理解度が身についているかを問う。リフレクションカードにおける質問事項（評価比率 10%）では、現代の社会福祉政策の課題に対応できる思考力を確認し、良い質問があれば評価の対象とする。なお質問に関しては、授業内に回答の形でフィードバックを行う。							
授業の概要							
講義形式を基本とするが、折に触れて受講者に意見を聞いたり質問したりするので、うまく対応できなくてもよいから素直に発言すること。講義は、指定テキストと毎回配布するレジュメを併用して行う。なお毎授業の最初に、前回授業の復習を目的とする確認テストを行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：『現代社会と福祉』 新・社会福祉士養成講座編集委員会 4 (株) 中央法規出版 (2014) 参考書：『社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験ワークブック 2016 (共通科目編)』(株) 中央法規出版 ※教科書では不十分な記述の解説をする際に、参照を求める 指定図書：『現代社会と福祉』 新・社会福祉士養成講座編集委員会 4 (株) 中央法規出版 (2014)							
授業外における学修及び学生に期待すること							
全国紙新聞の福祉に関する記事を探して読み、日常的に社会情勢に関心を持つこと。トイレ等で席を立つときは、必ず教員に許可を取ること。勝手に教室外に出ることは許可しない。携帯電話の使用は禁止。次ページの「予習・復習」欄に記載されている教科書の部分を、授業前日までに読んでおくこと。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	福祉国家の成立	近代的な市民権の確立と、福祉国家体制の成立	予習・復習：教科書第1章第2節を読んでおく
2	福祉国家の変容	福祉国家の危機と変化への対応を概観する	予習・復習：教科書第1章第3節を読んでおく
3	現代社会の変化と福祉	人口、労働の変化と福祉の現代的課題	予習・復習：教科書第1章第4節を読んでおく
4	価値規範としての福祉	目的概念と実体概念、社会福祉の普遍的価値	予習・復習：教科書第2章第1節を読んでおく
5	社会福祉の拡大と限定	社会福祉拡大の要請と、広義/狭義の社会福祉	予習・復習：教科書第2章第1節を読んでおく
6	福祉の思想と哲学①	市場の論理の特性と、倫理との調和・綱引きについて	予習・復習：教科書第3章第1、2節を読んでおく
7	福祉の思想と哲学②	ロールズ正義論とセンの潜在能力論について	予習・復習：教科書第3章第3節を読んでおく
8	社会政策と福祉政策①	社会政策と福祉政策の関係、必要・資源・配給について	予習・復習：教科書第4章第1節を読んでおく
9	社会政策と福祉政策②	雇用と所得保障、社会福祉事業と福祉サービス	予習・復習：教科書第4章第2節を読んでおく
10	近代化と福祉政策	近代国家以前の救済、以後の救済制度・慈善事業・社会事業を概観する	予習・復習：教科書第5章第1節を読んでおく
11	戦後から高度成長期までの福祉政策	戦後復興から成長期の福祉政策、「貧困の再発見」と「福祉元年」への動きを概観する	予習・復習：教科書第5章第2節を読んでおく
12	少子高齢化時代の福祉政策①	「福祉元年」や、オイルショック以降の1970～1980年代の福祉政策について	予習・復習：教科書第6章第1節を読んでおく
13	少子高齢化時代の福祉政策②	1990～2000年代以降の福祉政策の背景と展開	予習・復習：教科書第6章第2節を読んでおく
14	福祉政策における必要と資源①	必要と需要、必要と福祉政策の関係について説明する	予習・復習：教科書第7章第1節を読んでおく
15	福祉政策における必要と資源②	主観的必要と客観的必要、必要とニード・ニーズの関係	予習・復習：教科書第7章第3、4節を読んでおく
16	定期試験		定期試験の準備